

調査票記入例

秘

札幌市移輸出状況調査調

令和7年中の年間売上額について

年間売上額（令和7年中）

事業内容名	事業内容1	事業内容2	事業内容				
	ソフトウェア業	情報処理サービス業					
事業内容コード	6	7					
消費税の扱い	2	☒ 抜き ☐ 込み	※どちらかに				
年間売上額	3	100,000 千円	50,000 千円	千円	千円	千円	千円
うち輸出向け売上額	4	0 千円	0 千円	千円			
うち国内向け売上額	5	100,000 千円	50,000 千円	千円			
販売先地域別構成比		100.0 %	100.0 %	100.0 %			
札幌市内	6	60.0 %	100.0 %				
札幌市以外の道内		10.0 %	0.0 %				
道外他都府県		30.0 %	0.0 %	%	%	%	%

記入欄1

付表「札幌市移輸出状況調査事業内容表」の事業内容例示を参考に、調査票に印字されている事業を行っているか確認してください。行っていない事業が印字されていた場合は「事業内容名」及び「事業内容コード」を二重線で消してください。また、調査票に印字されている事業以外にも行っている事業がある場合は、空いている欄に「事業内容名」及び「事業内容コード」を追記してください。例えば、調査票に「ソフトウェア業」と印字されていたが、情報処理サービス業も行っている場合は、記入例のように「事業内容2」欄に追記してください。

記入欄2

記入した金額が、消費税「抜き」か「込み」かどちらかに☒を記入してください。原則「抜き」で記入してください。

記入欄3～5

以下のようなケースの場合、記入例のように記入してください。
◆令和7年中のソフトウェア業の売上額は1億円で、すべて国内の事業所に対する売上である。
⇒「年間売上額」に100,000千円、「うち輸出向け売上額」に0千円、「うち国内向け売上額」に100,000千円と記入。
◆情報処理サービス業の売上額が5千万円あり、すべて国内の事業所に対する売上である。
⇒「年間売上額」に50,000千円、「うち輸出向け売上額」に0千円、「うち国内向け売上額」に50,000千円と記入。

記入欄6

以下のようなケースの場合、記入例のように記入してください。
◆ソフトウェア業は、札幌市内の事業所に対する売上が6千万円、旭川市の事業所に対する売上が1千万円、東京都の事業所に対する売上が3千万円となっている。
⇒「札幌市内」に60.0%(6千万円÷1億円×100)、「札幌市以外の道内」に10.0%(1千万円÷1億円×100)、「道外他都府県」に30.0%(3千万円÷1億円×100)と記入。
◆情報処理サービス業は、すべて札幌市内の事業所に対する売上となっている。
⇒「札幌市内」に100.0%(5千万円÷5千万円×100)と記入。

- ① 貴事業所の年間売上額について、付表の「事業内容名」及び「事業内容コード」ごとにまとめて記入してください。
② 年間売上額とは、製品・商品の販売またはサービスの提供などへの対価として顧客から受け取った価額及び戻り高（返品等）は、可能な限り控除してください。
③ 金額は千円単位で記入して下さい。また、単位未満は四捨五入して下さい。
④ 販売先地域別構成比は、合計が100.0%となるように百分率で小数点以下1桁まで記入してください。

本調査票は、統計表の作成目的以外

事業所名	㈱札幌市役所ソフトウェアサービス	事業所所在地	〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目		
本票作成担当部課名	総務部総務課	本票作成者氏名	札幌 太郎	備考	

（令和8年2月1日作成）